

令和5年度第2回国立研究開発法人森林研究・整備機構  
森林総合研究所林木育種センター優良品種・技術評価委員会議事概要

1. 日時

令和5年11月27日（月） 13：30～16：30

2. 場所

TKP 東京駅カンファレンスセンター ミーティングルーム 2E

3. 出席者

委員：石栗 太、大森 龍一、齋藤 正、高橋 誠、箕輪 富男\*、蓬田 英俊  
（五十音順、\*委員長）

事務局：栗田 学、大平 峰子

4. 議事概要

**・品種評価基準の制定について**

気候変動適応性に優れた品種（耐乾性）の品種評価基準の制定を提案するに至った背景として、気候変動の進行ならびに森林・林業分野における適応策の具体化の重要性、乾燥ストレスへの耐性があると考えられる育種素材を抽出するための技術開発について事務局から説明した。さらに、品種評価基準の判断基準となる品種開発実施要領案、品種開発実施要領案の各条項に関する背景資料について事務局から説明した上で、当該品種の品種評価基準案の制定について提案した。委員による討議が行われ、委員全員の賛成で気候変動適応性に優れた品種（耐乾性）の品種評価基準の制定案が了承された。

**・申請のあった品種の評価について**

初期成長に優れた第二世代品種として3系統（林木育種センターの申請）、マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ品種として9系統（林木育種センターと千葉県共同申請が1系統、関西育種場の申請が8系統）、マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種として4系統（東北育種場の申請が1系統、林木育種センターと千葉県共同申請が1系統、九州育種場の申請が2系統）の合計16系統の申請があり、検討の結果、全ての系統が優良品種として評価された。

以上